

—法人化後の—

大学等における基礎研究の推進体制

大学等における研究者の自由な発想に基づく
独創的・先端的な基礎研究の推進体制

国立大学附置研究所・研究施設、大学共同利用機関及び学部・研究科
における基盤的経費による研究の推進

我が国の独自の学術研究システムである
大学共同利用機関・国立大学共同利用研究所等
における全国共同利用体制

1. 全国の国公私立大学の英知を集め、1つ1つの大学では困難な研究に挑戦

〔1 大学では運転や維持が困難な施設や設備の共有、
学術資料の収集・保存・提供、共同研究の場の提供、
国際共同実験、国際共同観測〕

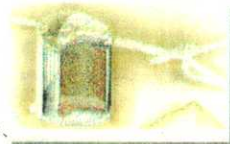
2. 最先端の研究環境をつくりあげ、21世紀の新たな知の創造と世界をリード
する国際的COEとしての役割

3. 限りある資源を効率的に活用して共同研究のテーマの募集・選考から採択
・実施まで全国のユーザーの声を聞きながら一元的に推進

4. 大学院生やポスドク等にも質の高い知見を提供し、人材養成に寄与

新たな知の創造

～世界をリードする
ニュートリノ研究～



〔『スーパーカミオカンデ』
東京大学宇宙線研究所〕

世界をリードする国際的COE



〔『大強度陽子加速器計画』
高エネルギー加速器
研究機構〕

大型装置の運転・共同研究



〔『すばる望遠鏡』
国立天文台〕

地方からの発信

（特色ある共同利用施設）



〔『アリドドーム』
鳥取大学 乾燥地研究センター〕

国際共同実験



〔『Bファクトリー』
高エネルギー加速器研究機構〕

国際共同観測（南極観測等）



（国立極地研究所）

研究交流の場の提供



（国際日本文化研究センター）

大学院生等の人材育成



（総合研究大学院大学）

国立大学法人法による4つの大学共同利用機関法人への再編・整備

法人化の狙い

①新規分野の創出

各機構における共同研究等を通じ、時代が要請する新たな学問分野創出への戦略的な取組

学術研究のダイナミックで総合的な発展

- ・従来の学問分野を超えた新たな研究パラダイムの構築
- ・大学附置研究所等との連携強化による共同研究のさらなる発展

②既存組織の見直し

法人化のメリットを最大限に活用し、既存の研究所について、柔軟に見直すことが可能

機動的・戦略的な研究運営を推進

- ・機構長直属の企画連携室を設置（人間文化研究機構ほか）
- ・分野を超えた研究体制を整備し新領域融合研究センターを設置（情報・システム研究機構）

③事務処理体制等の効率化

共回事務の一括処理等により、研究遂行を支援する事務処理、技術支援体制の効率化、強化

総合的な研究支援機能を強化

- ・機構本部事務局による、共回事務の一元処理
- ・技術支援体制の見直し

大学共同利用機関における新規分野の開拓、研究遂行の効率化により、大学セクター全体の新規分野への取組が円滑化

進化する大学共同利用機関

人間文化研究機構



国立歴史民俗博物館(千葉県佐倉市)
国文学研究資料館(東京都品川区)
国際日本文化研究センター(京都府京都市)
総合地球環境学研究所(京都府京都市)
国立民族学博物館(大阪府吹田市)

【平成16年度予算額 116億円】

自然科学研究機構



国立天文台(東京都三鷹市)
核融合科学研究所(岐阜県土岐市)
基礎生物学研究所(愛知県岡崎市)
生理学研究所(愛知県岡崎市)
分子科学研究所(愛知県岡崎市)

【平成16年度予算額 301億円】

高エネルギー加速器研究機構



素粒子原子核研究所(茨城県つくば市)
物質構造科学研究所(茨城県つくば市)

【平成16年度予算額 288億円】

情報・システム研究機構



国立極地研究所(東京都板橋区)
国立情報学研究所(東京都千代田区)
統計数理研究所(東京都港区)
国立遺伝学研究所(静岡県三島市)

【平成16年度予算額 199億円】

※国立大学法人運営費交付金を計上

— 全国の附置研究所及び研究施設の共同利用の状況 —

大学の枠を超え、全国の当該分野の研究者等の共同利用に供し、教育研究に貢献

国立大学の附置研究所(59研究所)

※赤字は全国共同利用型附置研究所(19研究所)

- ・北海道大学
 - 低温科学研究所
 - 電子科学研究所
 - 遺伝子病制御研究所
- ・東北大学
 - 金属材料研究所
 - 加齢医学研究所
 - 流体科学研究所
 - 電気通信研究所
 - 多元物質科学研究所
- ・群馬大学
 - 生体調節研究所
- ・東京大学
 - 医科学研究所
 - 地震研究所
 - 東洋文化研究所
 - 社会科学研究所
 - 生産技術研究所
 - 史料編さん所
 - 分子細胞生物学研究所
 - 宇宙線研究所
 - 物性研究所
 - 海洋研究所
 - 先端科学技術研究センター
- ・東京医科歯科大学
 - 生体材料工学研究所
 - 難治疾患研究所
- ・東京外国語大学
 - アジア・アフリカ言語文化研究所
- ・東京工業大学
 - 資源化学研究所
 - 精密工学研究所
 - 応用セラミックス研究所
 - 原子炉工学研究所
- ・一橋大学
 - 経済研究所
- ・新潟大学
 - 脳研究所
- ・富山医科薬科大学
 - 和漢薬研究所
- ・金沢大学
 - がん研究所
- ・静岡大学
 - 電子工学研究所
- ・名古屋大学
 - 環境医学研究所
 - 太陽地球環境研究所
- ・京都大学
 - 化学研究所
 - 人文科学研究所
 - 再生医学科学研究所
 - エネルギー理工学研究所
 - 木質科学研究所
 - 防災研究所
 - 基礎物理学研究所
 - ウイルス研究所
 - 経済研究所
 - 数理解析研究所
 - 原子炉実験所
 - 霊長類研究所
 - 東南アジア研究所
- ・大阪大学
 - 微生物病研究所
 - 産業科学研究所
 - たんぱく質研究所
 - 社会経済研究所
 - 接合科学研究所
- ・神戸大学
 - 経済経営研究所
- ・岡山大学
 - 資源生物科学研究所
- ・広島大学
 - 原爆放射線医学研究所
- ・九州大学
 - 生体防御医学研究所
 - 応用力学研究所
 - 先端物質化学研究所
- ・長崎大学
 - 熱帯医学研究所

国立大学の研究施設(421研究施設)のうち 全国共同利用型研究施設(25研究施設)

- ・北海道大学
 - 触媒化学研究センター
 - スラブ研究センター
 - 情報基盤センター
- ・帯広畜産大学
 - 原虫病研究センター
- ・東北大学
 - 情報ナジールセンター
- ・筑波大学
 - 計算物理学研究センター
- ・千葉大学
 - 環境リモートセンシング研究センター
 - 真菌医学研究センター
- ・東京大学
 - 気候システム研究センター
 - 素粒子物理国際研究センター
 - 情報基盤センター
- ・名古屋大学
 - 地球水循環環境研究センター
 - 情報連携基盤センター
- ・京都大学
 - 生態学研究センター
 - 宇宙電波科学研究所
 - 放射線生物研究所
 - 学術情報メディアセンター
- ・大阪大学
 - 核物理研究センター
 - サイバーメディアセンター
- ・鳥取大学
 - 乾燥地研究センター
- ・岡山大学
 - 固体地球研究センター
- ・広島大学
 - 放射光科学研究センター
- ・高知大学
 - 海洋コア総合研究センター
- ・九州大学
 - 情報基盤センター
- ・琉球大学
 - 熱帯生物圏研究センター



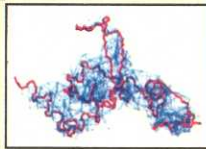
小型放射光で物質科学分野をリードする
(広島大学 放射光科学研究センター)



材料科学でリードする
(東北大学 金属材料研究所)



野生チンパンジーの生態学的研究を行う
(京都大学 霊長類研究所)
次世代超並列計算機の開発を目指して
(筑波大学 計算物理学研究センター)
(愛知県犬山市)



蛋白質の構造と機能の解析を目指す
(大阪大学 たんぱく質研究所)

●: 附置研究所及び全国共同利用型研究施設
を有する国立大学の所在地